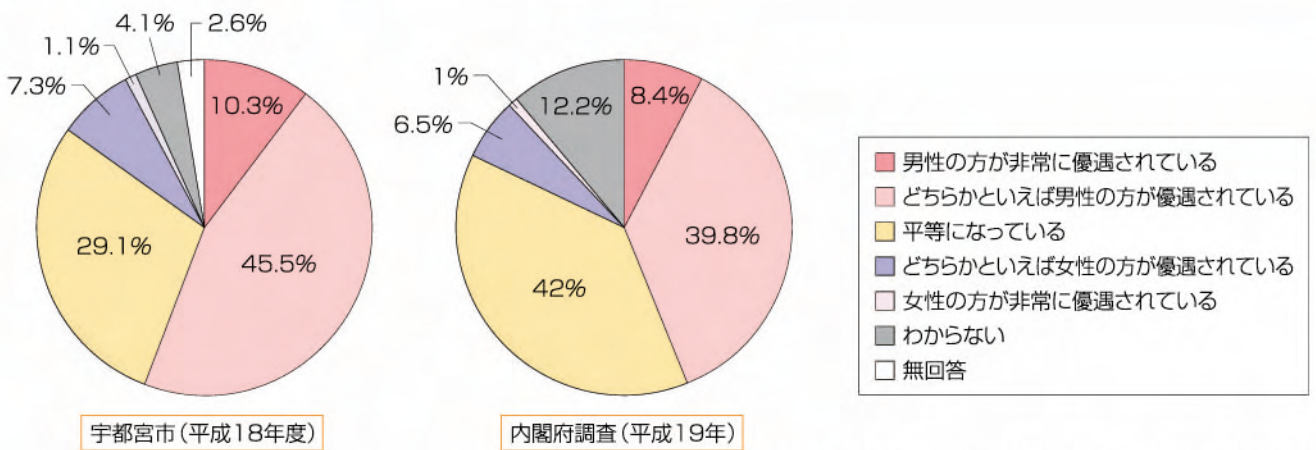


# 男女共同参画についての理解を深める基盤づくり

男女共同参画は、特に、日常生活が営まれる家庭から推進していくことが大切です。しかし、市民意識調査によると家庭生活において男女平等と感じる人の割合は29.1%で内閣府の全国調査の42%を大きく下回っています。

男女共同参画社会の基盤づくりとして、すべての人が男女共同参画を正しく理解し、意識を深められる啓発活動や学習・教育を推進し、家庭生活において男女平等と感じる人の割合を42%まで増やします。

## 男女の地位の平等感（家庭生活上で）



宇都宮市男女共同参画に関する市民意識調査（平成18年）  
内閣府男女共同参画社会に関する世論調査（平成19年）

## 具体的な推進事業

### ■ 男女共同参画の理解を促す広報・啓発活動

- ・ 10月をうつつのみや男女共同参画推進月間とし、集中的・重点的に事業を実施します。
- ・ 男女共同参画についてみなさんとともに考える「ときめく未来へ参画会議」を年1回実施します。
- ・ 男女共同参画に関する情報を啓発誌などで提供します。
- ・ 「家庭の日」の推進し、家庭から男女共同参画を推進します。
- ・ 市職員の男女共同参画意識を高めます。

### ■ 男女共同参画の意識を高める学習の推進

- ・ 男女共同参画推進講座を開催します。
- ・ 中学生を対象に男女共同参画標語等コンクールを実施します。

### ■ 男女共同参画の視点に立った家庭教育支援の充実

- ・ 啓発紙の発行などにより家庭教育に関する意識啓発を行います。
- ・ 家庭教育に関する講座を開催します。

### ■ 男女共同参画の視点に立った学校教育の推進

- ・ 学校で男女平等教育を推進します。
- ・ 小学生を対象に男女共同参画教育参考資料を活用した教育を実施します。
- ・ 若者への性教育を充実します。
- ・ 教職員を対象に男女平等教育の研修を行います。